

2023年8月22日

業界横断で使用済みプラスチック容器回収実験を実施 ～相模原市立橋本小学校のSDGs教育の一環として、児童主導での取り組み～

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、資本参加している、使用済みプラスチックの再資源化技術開発・実用化推進に取り組む共同出資会社、株式会社アールプラスジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：横井恒彦、以下、アールプラスジャパン）の活動の一環として、相模原市立橋本小学校（神奈川県相模原市）において、2023年8月28日から9月23日に、家庭での使用済みプラスチック容器の回収実験を実施します。

これは、アールプラスジャパンに資本参加している5社（三友プラントサービス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、リスパック株式会社、カルビー株式会社、株式会社ヤクルト本社）による業界横断での取り組みです。

相模原市立橋本小学校では、“SDGsのまち HASHIMOTO”をスローガンに、今年度の6年生を対象としたSDGs教育の一環として、今回の取り組みを行います。児童は参加する各社による授業を受けたうえで、自らが回収箱を作成し、回収方法の考案や目標数値の設定をしたうえで、回収を行います。そして、回収したプラスチック容器の品質・量を調査し、アールプラスジャパンが開発中のリサイクル技術への適用を検討することにより、将来的なプラスチック容器資源循環の可能性を探ります。

なお、回収したプラスチックは、児童によるアイデアをもとにリサイクルし、再資源化して活用する計画です。

今後、当社は本活動への参加を通じて、効果検証を重ねながら、使用済みプラスチックの再資源化を進めていきます。



授業の様子



児童が作成した回収箱

【取り組みの概要】

期 間：2023年8月28日～9月23日

回収対象：プラスチックマークの付いた乳酸菌飲料容器・菓子袋、プラスチック製の弁当・惣菜容器、ペットボトルとそのキャップ

回収方法：水ですすいで乾燥させたものを参加児童が学校へ持参し、児童自らが作成した回収箱にて回収します。掲示物や各教室への声掛けなど、6年生自ら他学年の児童へも参加を呼び掛けます。

以 上